

〈解答〉

- ① 1 ア, ウ (順不同・両解)
2 ①: 稚魚 ②: 放流 (両解)
- ② 1 リアス海岸
2 イ
3 ①: 降水量 ②: ため池 (両解)
4 観光

配点 ① 1, ② 2は各1点, 他は各2点 10点満点

〈解説〉

- ① 1 日本のように、国の全体が大陸から離れて、周りを海で囲まれている国は島国〔海洋国〕と呼ばれる。一方、モンゴルのように海に面していない国は内陸国と呼ばれ、周りはすべて、ほかの国と陸続きでつながっている。
- 2 養殖漁業は、稚魚などを、網に囲まれた「いけす」や人工の池を利用して、大きくなるまで育てたのち、魚を出荷する漁業である。栽培漁業は、人工的に育てた稚魚などを海や川に放流し、自然の中で育った魚を大きくなったあとで漁獲する漁業である。養殖漁業と栽培漁業は「育てる漁業」と呼ばれている。
- ② 1 リアス海岸は、陸地が沈み込んだり海面が上昇したりすることにより、谷に海水が入り込んでできた海岸である。水深が深く、波がおだやかなため、港の立地や魚の養殖には適しているが、津波による被害を受けやすい。日本では三陸海岸や若狭湾、志摩半島などに見られる。
- 2 名古屋市を中心に伊勢湾の臨海部から内陸部に広がる中京工業地帯は、国内有数の工業地域である。臨海部には、製鉄所や石油化学コンビナートなどや、近年では輸出用の航空機部品組み立て工場、輸出・輸入する自動車の保管施設などが立地している。内陸部には、自動車関連の工場や、航空機部品の工場、液晶関連の開発拠点が立地するなど新しい工業も発達している。
- 3 瀬戸内は、季節風が南北にある四国山地と中国山地の二つの山地にさえぎられるため、一年を通じて降水量が少なく温暖で、夏には水不足に悩まされることがある。
- 4 沖縄県は、暖かい気候やさんご礁の海、沖縄固有の動植物、伝統文化などが人々をひきつけ、年間約876万人(2016年度)の観光客が沖縄を訪れる。沖縄県はほかの都道府県に比べ、観光産業を中心に、その他のサービス業や米軍基地に関連する産業など、第3次産業に従事する人の割合が高くなっている。